

精神科地域支援研修会(第1回)

日時▶10月29日(土)10:00~15:30
 開催場所▶福岡県教育会館(福岡市東区)
 プログラム▶記念講演「期待される精神科地域支援とは」山根俊恵/シンポジウム「それぞれのビジョンと連携のあり方」谷口研一郎・前田秀和・進あすか・三尾弘明
 参加費▶2000円
 定員▶150名(席が空いていれば当日参加も可)
 問い合わせ先▶事務局:訪問看護ステーションみのり 木下・小瀬古
 ☎06-6916-9700
 FAX 06-6916-9701
 E-mail: dokuritugatahoumonkango@gmail.com

日本アルコール看護研究会・ 関東ブロック 宿泊研修(第25回)

日時▶10月29日(土)~30日(日)
 会場▶国立女性教育会館(埼玉県比企郡)
 プログラム▶参加者交流(ワールドカフェ方式)/グループワーク1「再入院を予防するための取り組みー地域生活を見据えた病棟医療」、2「患者の主体性に寄り添う医療ーその人の「希望」を聞き出す」、3「怒りのコントロールーお互いの陰性感情に振り回されないためには」、4「コントロール欲求の対処ー相手を変えたい欲求について」、5「課題の分離ーどこまでが相手の課題でどこからが自分の課題か」/総評
 参加費▶1万3000円
 定員▶60名
 問い合わせ先▶駒木野病院内 事務局長 宮脇真一郎
 〒193-8505 東京都八王子市裏高尾273
 ☎042-663-2222
 FAX 042-663-3286

日本ストレス学会学術総会(第32回)

日時▶10月29日(土)~30日(日)
 会場▶杏林大学 井の頭キャンパス(東京都三鷹市)
 プログラム▶会長講演「治療における『当事者に対するレジリエンスを意識したアプローチ』の提案」渡邊衡一郎/教育講演1「森田療法とレジリエンス」中村敬、2「神経科学・神経化学におけるレジリエンス研究」田中謙二、3「身体疾患患者のストレス・心理的支援について(仮)」堀越勝(仮)、4「さまざまな場面におけるレジリエンス」加藤敏、5「ワークライフバランスとストレス」島津明人/シンポジウム1「ストレスとパーソナリティの相互作用がメンタルヘルスに及ぼす影響」井上猛・戸田裕之・中島聡美・秋山剛、2「ストレスチェック制度の課題」野村忍・湯佐真由美・三柴文典、3「東日本大震災から考えるレジリエンス」、4「医療従事者・支援者のストレスケア」保坂隆・野末聖香・福森崇貴・伊藤義徳、5「レジリエンスの多文化比較」/市民公開講座「心豊かに生きるコツ:マインドフルネス」藤澤大

介・佐渡充洋/ストレス実施者研修セミナー 角田透
 問い合わせ先▶コンベンションリンケージ内 事務局
 〒102-0075 東京都千代田区三番町2
 ☎03-3263-8688
 E-mail: stress32@c-linkage.co.jp

アルコール関連問題啓発週間・ 推進セミナー(第2回)

日時▶11月12日(土)14:00~16:45
 会場▶さいたま市文化センター多目的ホール(さいたま市南区)
 プログラム▶講演「依存症の治療と回復支援」成瀬暢也/「体験談」依存症者本人・家族・看護師
 参加費▶一般2000円、当事者1000円(事前申込不要)
 問い合わせ先▶井之頭病院 石垣
 ☎0422-44-5331

集団認知行動療法研究会基礎研修会

【第23回(長野)】
 日時▶11月12(土)
 会場▶にじいるキッズらいふ(長野市)
 【第24回(東京)】
 日時▶2017年1月28日(土)
 会場▶NTT東日本関東病院(東京都品川区)
 【第25回(愛知)】
 日時▶2017年3月26日(日)
 会場▶ウィंकあいち(名古屋市中村区)
 【共通】
 プログラム▶「集団認知行動療法とはなにか」「集団認知行動療法プログラムの運営について」「認知への介入」「行動への介入」(グループ演習をしながら学ぶ)
 対象▶医療・看護・福祉・心理・保健・産業・司法矯正分野等で援助業務に携わっている専門家で、守秘義務について監督される機関で研修歴・勤務歴がある人
 参加費▶会員3000円、非会員6000円
 申込方法▶<http://cbgt.org/>の参加申込フォームあるいは下記のE-mailアドレスへ送信を。①研修会名(開催日、開催地)、②名前、③よみがな、④所属、⑤職種、⑥〒住所、⑦電話番号、⑧メールアドレス、⑨会員か非会員か、⑩認知行動療法の経験の有無を記入。定員に達し次第締切。
 問い合わせ先▶NTT東日本関東病院精神神経科内 事務局 秋山剛
 〒141-8625 東京都品川区東五反田5-9-22
 E-mail: cbgta.kiso@gmail.com
 ☎03-3448-6508

日本周産期メンタルヘルス学会 学術集会 (第13回)

日程▶11月19日(土)～20日(日)

会場▶KFC Hall & Rooms 国際ファッションセンター(東京都墨田区)

プログラム▶特別講演1「私の周産期メンタルヘルス研究史(仮)」北村俊則、2「産婦人科とメンタルヘルス(仮)」竹田省／教育講演「周産期メンタルヘルスにおける助産師の役割～過去・現在・未来(仮)」新井陽子／会長講演「周産期メンタルヘルスの薬物療法：10の原則(仮)」鈴木利人／シンポジウム1「ハイリスク対象化で医療連携はどう変わるか」、2「周産期メンタルヘルスリテラシーの向上を目指して」、3「妊産婦の自殺予防の取り組みと産後ケア」

参加費▶(当日払い、現金のみ)会員5000円・非会員6000円・学生1000円

申込方法▶11月15日(火)までにメールまたはFAXで。メールは件名を「第13回学術集会参加申込」とし、①氏名(ふりがな)、②施設・所属名、③職種(精神科医、産科医、助産師など)、④会員種別(正会員または非会員)を記入する。またはホームページ(http://pmh.jp/13th_program.html)より参加申込用紙をダウンロード、プリントし、必要事項を記入して下記FAX番号に送信を。

申込・問い合わせ先▶事務局

FAX 059-231-9049

E-mail: mental-3@hac.mie-u.ac.jp

日本青年期精神療法学会 (第34回)

日時▶11月19日(土)～20日(日)

会場▶熊本医療センター 2階(熊本市中央区)

プログラム▶教育講演「最新の脳科学知見と精神療法の融合」岡野憲一郎、「ジェンダーのあり方とアイデンティティへの統合」松永千秋／ランチョンセミナー「青年期の不安とうつ」松永寿人

参加費▶(事前申込)会員・非会員とも7000円、(当日)8000円、学生3000円、懇親会：(事前)5000円、(当日)6000円

申込方法▶名前、所属を入力し、ホームページ(<http://seinenki2016.wixsite.com/seinenki>)の申込フォーム、あるいは事務局メールアドレスまで送信し、2週間以内に、肥後銀行 秋津支店 普通口座 1631817「第34回日本青年期精神療法学会 総会 会長 平村英寿」へ入金を。

問い合わせ先▶長嶺南クリニック

〒862-0920 熊本県熊本市東区月出7-1-12

☎096-387-0803

FAX 096-387-0802

E-mail: seinenki2016@gmail.com

日本精神科看護専門学術集会 in 新潟 (第23回)

日時▶11月26日(土)～27日(日)

会場▶朱鷺メッセ(新潟市)

プログラム▶学術講演「オープンダイアローグの理解と実践」斎藤環／パネルディスカッション「精神科医療に求められるこれからの退院支援を考える～看・看護連携を重視した退院支援の取り組み」吉川隆博、「精神科救急・急性期病棟の役割と課題～病床機能分化に伴う看護実践のあり方」畠山卓也／実践セミナー「認知症看護～作業療法士から学ぶ技。食事介助を変えれば食べ方が変わる」大塚恒子／テーマセッション「訪問による早期支援(危機介入)に関する看護の取り組み」「心理的アプローチに関する看護の取り組み」「患者・家族も含めたソーシャルネットワークを重視した看護の取り組み」／特別講演「虐待と父性～フィンランドの看護師たちの家族ケア」ピリヨ・コトカモ／特別企画「水中毒裁判～最高裁判決で問われる看護の基本」吉浜文洋／「精神科認定看護師実践報告」／一般演題(看護研究発表、実践報告、業務改善報告)／【プレコングレス】11月25日(金)18:00～19:00「精神看護の未来を変えよう！認知行動理論をベースにした認知行動療法によるアプローチ」岡田佳詠

参加費(プレコングレス含む)▶(～10月31日)会員1万2960円、非会員1万5120円、(当日)会員2万3760円、非会員2万5920円、学生は無料。プレコングレスのみ参加は会員1080円、非会員2160円

申込方法▶学術集会ホームページ(<http://jpna-gakujutsu.jp/senmon/>)の申込フォームより。またはホームページより申込書をダウンロード、プリントして、必要事項を記入し、東武トップツアーズ新潟支店「第23回日本精神科看護専門学術集会(新潟県)」係担当：濁川(にごりかわ)、栗原(くわばら)まで。

FAX 025-243-2255 ☎025-243-1515

問い合わせ先▶日本精神科看護協会

☎03-5796-7033

SST普及協会学術集会 (第21回 in 名古屋)

日時▶11月26日(土)～27日(日)

会場▶名古屋国際会議場(名古屋市熱田区)

プログラム▶会長講演「リカバリーの時代とSST発展の展望」丹羽真一／特別講演／シンポジウム「続・SSTの進歩」

参加費▶(～11月11日)会員5000円、非会員7000円、(当日)会員6000円、非会員8000円、当事者・家族・学生2000円、懇親会6000円

申込方法▶学術集会ホームページ(<http://21st-gakkai.jasst.net/entry/>)から申込用紙をダウンロードし、必要事項を記入のうえ、下記メールへ添付ファイルで送信を。

問い合わせ先▶トリョウビジネスサービス内 運営事務局

〒104-0045 東京都中央区築地2-3-4-9F

☎03-3547-9664

FAX 03-3547-9684

E-mail: 21gakkai@jasst.net

日本精神障害者リハビリテーション学会

日時▶11月30日(水)～12月2日(金)

会場▶JA長野県ビル(長野県長野市)

プログラム▶大会長講演 関健/大会特別講演 天野直二/学会シンポジウム「リハビリテーションの観点から医療の役割を考える～医師の人材育成を中心に」近藤伸介・清野知樹・宇田川健・倉知延章/大会企画ワークショップ「BACS講習会」(要予約)兼田康宏/大会特別講演 鷲塚伸介/大会シンポジウム「MCT-J」石垣琢磨・細野正人・森美栄子・井上栄一/大会企画講演 中込和幸/大会特別講演(一般公開)

参加費▶(～10月30日)会員6000円、非会員7000円、当事者・家族・学生1000円、(当日)会員8000円、非会員9000円、当事者・家族・学生2000円

申込方法▶大会ホームページ<http://www.japr2016.jp/>申込フォームより。

事前申込締切▶10月30日(日)

11月30日研修セミナープログラム▶1「ケアマネジメントの理論と実際」植田俊幸、2「明日から使える就労支援のスキル～合理的配慮への対応と発達障害の特性を踏まえた支援」相澤欽一・千田若菜、3「退院に向けての意欲喚起と退院支援にSSTを生かす・取り入れる」安西信雄、4「家族支援としての家族心理教育」後藤雅博、5「当事者研究入門～その意義と臨床における活用」向谷地生良、6「マインドフルネスを体験してみよう」下平美智代、7「訪問により本人と家族をともに支援する～メリデン版訪問家族支援から学ぶ家族支援の技術」佐藤純、8「当事者の生活に即した危機対応」長谷川憲一・小川一夫、9「ストレングスモデルとコミュニティソーシャルワークを修得しよう!」田中英樹・栄セツコ

研修セミナー参加費▶会員3000円、非会員4500円。申込み後、入金方法を通知。※研修は同時開催のため複数参加はできない。

研修セミナー申込締切▶11月22日(火)(各研修セミナーとも定員になり次第締切)、大会ホームページより申込書をダウンロードし、必要事項を記入しFAX。

問い合わせ先▶城西病院臨床心理部内 運営事務局 長岡

〒390-8648 長野県松本市城西1-5-16

☎0263-33-6400(代)

FAX 0263-33-9920

E-mail : info@japr2016.jp

就労支援フォーラムNIPPON 2016

日時▶12月3日(土)～4日(日)

会場▶ベルサール新宿グランド(東京都新宿区)

プログラム▶パネルディスカッション1「モノを売るためのヒント～価値を高めるデザイン力」服部滋樹・光枝茉莉子・飯田大輔、2「働くこと、雇うこと、雇ってもらふこと、働いてもらうこと～それぞれの課題と責任、希望と期待」中島隆信・野沢和弘・内山博之・新井和宏・藤田敏子・且田久雄、3「生活支援なくして就労支援なし～働くために必要なケアを学ぶ」門屋充郎・金塚たかし・多田伸志・仲地宗幸/ナイトセッション＝情報交換会と実践報告ポスターセッション(※事前

申込者のみ)/分科会1(同時進行/定員あり/事前登録可)1-1「ICTの活用による障害者就労支援の可能性～在宅就業の視点も含めて」堀込真理子、1-2「障害のある人を人財として活かす雇用管理」箕輪優子、1-3「A型事業所は今後何をめざすのか?」久保寺一男、1-4「農福連携の可能性を知り成果をあげるために」濱田健司、1-5「ワークスみらい高知のヒミツ」岩淵祐二、1-6「精神症状が安定しない人への就労支援～看護師が行うケアの成果」那須祐子/分科会2 2-1「必ずできる! 全国平均工賃30,000円!」大塚由紀子、2-2「就労継続・定着を維持していくための生活支援のあり方」野崎智仁、2-3「夢をかなえるメディア事業所の取り組み～情報発信を仕事として」橋本達志とこりか・プロダクションのメンバー5名、2-4「発達障害のある人への合理的配慮～コミュニケーションへの配慮を中心に」湯汲英史、2-5「精神障害における就労支援の醍醐味」金塚たかし、2-6「障害者など働きたいのに働けない人々にどのように就労の場を提供したらいいのか?～ユニバーサル就労とソーシャルファームを題材にして」池田徹/シンポジウム「学ぶべきもの、変えるべきもの、認めあうもの」叶義文・赤松英知・中村敏彦・榊原典俊・竹村利道

対象▶全国の障害者就労支援事業所および障害者支援に従事する人

問い合わせ先▶日本精神科看護協会

〒108-0075 東京都港区港南2-12-33 品川キャナルビル7F

☎03-5796-7033(代)

FAX 03-5796-7034

E-mail : info@jpna.or.jp

精神科認定看護師の会 関東ブロック研修会

日時▶12月4日(日)10:00～16:00

会場▶日本精神科看護協会(東京都港区)

プログラム▶「発達障害と看護(仮)」辻脇邦彦

対象▶精神科認定看護師の会会員ほか

受講料▶会員は無料、非会員2000円(当日徴収)

申込方法▶下記メールアドレスの長嶺までメールで。会員は氏名、支部名、施設名、メールアドレスを。会員からの紹介者は全員のフルネームとそれぞれの所属、合計人数、連絡用電話番号を記載。非会員はフルネーム・所属・合計人数、認定看護師の会へ加入希望があれば添える。

申込締切▶11月4日(金)必着

問い合わせ先▶一般財団法人精神医学研究所附属東京武蔵野病院 長嶺真智子

E-mail : eyesofyoung0831@yahoo.co.jp

☎090-7747-0841

バイトソンセミナー「冗長性とコード化」

日時▶ 12月4日(日)10:00~17:00

会場▶ 板橋グリーンホール504会議室(東京都板橋区)

講師▶ 野村直樹(名古屋市立大学名誉教授)

内容▶ オープンダイアログで再び注目を集めるバイトソン。斯界第一人者である野村氏によるレクチャーと、グループディスカッションを行う。

定員▶ 30名程度

参加費▶ 一般7000円、学生5000円(終了後、懇親会予定あり)

申込先▶ 名前、所属、職種を明記し、下記メールアドレスまで。

shinrigijyutukenkyukai115@yahoo.co.jp

問い合わせ先▶ セミナー内容などに関して講師へ直接尋ねたいことがあれば、下記アドレスまで。

nomura@hum.nagoya-cu.ac.jp

参加要件▶ バイトソンや野村氏に興味がある人。なるべく『精神の生態学』(新思索社)第2版p549~569の「冗長性とコード化」を読んだから参加を。論文が入手できない場合はメールにて知らせてください。

メンタルヘルス関連三学会合同大会

第38回全国大学メンタルヘルス学会総会

第32回日本精神衛生学会大会

第20回日本学校メンタルヘルス学会大会

日時▶ 12月9日(金)~12月11日(日)

会場▶ 一橋大学 一橋講堂(東京都千代田区)

プログラム▶ 大会長講演 早川東作・牛島定信/合同企画シンポジウム1「発達障害について~支援の現状と今後の展望」(仮)福田真也・渡辺慶一郎・土屋賢治、2「オープンダイアログ~精神医学、社会学、文化人類学のクロストーク」斎藤環・宮台真司・上田紀行/特別講演「不登校へのアプローチ」中村伸一/公開シンポジウム[12月11日(日)13:30~16:00](参加費無料)「生きることの困難さを抱える若者たちをどう支援するか」水野淳一郎・目良宣子・池上正樹・荒井浩司

参加資格▶ 全国大学メンタルヘルス学会会員、日本精神衛生学会会員、日本学校メンタルヘルス学会会員ならびにメンタルヘルスに関する活動に関心のある人

参加費▶ 会員、非会員とも1万円、学生(院生含む)4000円、合同懇親会5000円

問い合わせ先▶ 東京農工大学保健管理センター早川研究室内 大会事務局 馬淵麻由子

〒184-8588 東京都小金井市中町2-24-16

E-mail: mh3_2016@cc.tuat.ac.jp